

(記入見本)

※実際の活動内容・収支を報告してください。予算と異なる結果となっても構いません。

令和5年度事業報告及び決算書

《事業報告》

活動日も含めて期日・場所・内容等を記入してください

| 期 日 | 内 容 | 場 所 | 備 考 |
|--------|----------------------------|--------|-----|
| 4月6日 | 令和5年度総会 | 薬円台公民館 | |
| 4月～3月 | 定例活動 ○○の練習 (月2回 第1・3火曜日午後) | 薬円台公民館 | |
| 10月15日 | 公民館文化祭 | 薬円台公民館 | |
| 12月22日 | 懇親会 | | |

定期活動(定例会・総会)や不定期活動(文化祭や地域まつりへの参加、会として実施したボランティア活動など)を記入。

《決算書》

令和4年度決算の「次年度繰越金」の金額と一致させてください。

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------------|---------|---------------------------|---------|
| 摘 要 | 金 額 (円) | 摘 要 | 金 額 (円) |
| 前年度繰越金 | 8,620 | 指導者謝礼 (5,000円×2回×12ヵ月) | 120,000 |
| 会 費 (1,000円×12ヵ月×10人) | 120,000 | 公民館施設使用料 (495円×24回) | 11,880 |
| (1,000円×10ヵ月×1人) | 10,000 | 事務費(通信費) | 1,500 |
| (1,000円×2ヵ月×1人) | 2,000 | 消耗品購入費 | 2,454 |
| 入会金 (1,000円×2人) | 2,000 | 会議費 | 1,200 |
| 預金利子 | 7 | 雑費 | 3,000 |
| | | 次年度繰越金 | 2,593 |
| 合 計 | 142,627 | 合 計 | 142,627 |

※ 収入の合計と支出の合計は同じ金額になります。

- 注) ●会費については、「何ヵ月分納めた人が何人いるか」という書き方で記入してください。
●指導者謝礼については月に何回、いくら支払ったか記入してください。
●前年度繰越金は、令和4年度の決算書の「次年度繰越金」の額を記入してください。
●総会で承認された決算です。
●支出 摘要欄の「中元・歳暮」の表記は×。雑費や交際費として下さい。

(記入見本)

令和6年度事業計画及び予算書

《事業計画》

1. 事業 (〇〇大会参加、□□発表会、公民館文化祭参加等)

| 月 | 内 容 | 備 考 |
|-------|----------------------------|-----|
| 4月 | 総会 | |
| 4月～3月 | 定例活動 〇〇の練習 (月2回 第1・3火曜日午後) | |
| 9月 | △〇大会に参加 (場所: ●●会館) | |
| 10月 | 薬円台公民館文化祭参加 | |
| 12月 | 懇親会 | |
| 3月 | □◇講習会に参加 (場所: 〇〇自治会館) | |

2. 活動日

定例会 : 毎月第1・3火曜日 (午前・昼・~~午後~~・夜)

不定期

場 所 : 薬円台公民館

内 容 : △△の学習

該当の時間帯を^{まる}〇で囲んで下さい。

令和5年度決算の「次年度繰越金」の金額と一致させてください。

《予算書》

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------------|---------|--------------------------|---------|
| 摘 要 | 金 額 (円) | 摘 要 | 金 額 (円) |
| 前年度繰越金 | 2,593 | 指導謝礼 (5,000円×2回×12カ月) | 120,000 |
| 会 費 (1,000円×12カ月×12人) | 144,000 | 公民館施設使用料 (495円×24回) | 11,880 |
| 預金利子 | 8 | 事 務 費 (通信費) | 1,500 |
| | | 消耗品購入費 | 2,500 |
| | | 会 議 費 | 2,000 |
| | | 雑 費 | 2,000 |
| | | 予備費 | 6,721 |
| 合 計 | 146,601 | 合 計 | 146,601 |

※ それぞれ縦の合計は確かめてください。

- 注) ●会員の人数は、別紙の「団体状況調べ」「役員名簿」の人数と一致させて下さい。
 ●前年度繰越金は、前年度決算書の支出欄「次年度繰越金」と一致させて下さい。
 ●予算書では、次年度繰越金ではなく「予備費」となります。●総会開催の予定は忘れずに記載して下さい。
 ●会費は明細を記入して下さい。

(記入見本)

役員名簿

代表者

| 役職名 | 氏名 | 住所 | 電話番号 |
|-----|---------|---------------|------------|
| 会長 | F 橋 一 郎 | 船橋市薬円台 ○—△—〇〇 | 4 3 7—〇△×◇ |

代表者以外の連絡先

| 役職名 | 氏名 | 電話番号 |
|-----|---------|------------|
| 副会長 | A 山 二 郎 | 4 3 7—◇〇△× |

その他役員

| 役職名 | 氏名 |
|-----|---------|
| 副会長 | B 田 三 郎 |
| 会計 | C 川 花 子 |
| 会計 | D 島 四 郎 |
| 監査 | E 口 五 郎 |
| 監査 | G 崎 華 江 |
| | |

※不足する場合は付け足してください。

※各役職名は、規約(会則)に倣ってください。この見本に合わせて、「会長」や「監査」としないでください。

・役職のかけもちは出来ません。人数不足等で規約にある役職に人が当てられない場合には、規約を変更するか、欠員となる理由を明記してください。(代表・会計・監査の3役は必須です。)

・講師は会員・役員に加えないように。会員相互で教え合う様なサークル(講師料なし)は、講師は無記名で

団体事務所所在地

船橋市 薬円台 ○ — △ — 〇〇

() ※役職・名前を記入《規約に合わせてください》

電話番号 0 4 7 — 4 3 7 — 〇△×◇

会員数

1 2 人

団体状況調べと人数を一致させてください

注) ●団体の事務所所在地は、規約(会則)で決められたところの船橋市内に限ります。

●役員名は、規約(会則)の規定による役員名を記入してください。

●住所欄は市内在住者については町名からで結構です。

(記入見本)

登録申請に係る団体状況調べ

市外在住で市内在勤者数

| | | | | | | | |
|-----------|----------------------------|-------------|-----------|------------|-------------|-------------|-------|
| 団 体 名 | 薬円台○△サークル | | 発 行 年 月 日 | | | | |
| | | | ◇年 4月 1日 | | | | |
| 会 員 構 成 | 市内居住者 | 10人 | 市内在勤者 | 1人 | 市 外 | 1人 | |
| | 男 性 | 4人 | 女 性 | 8人 | 合 計 | 12人 | |
| | 0～15歳(中学生以下) | | 0人 | 40歳代 | | | 2人 |
| | 16～20歳未満 | | 0人 | 50歳代 | | | 3人 |
| | 20歳代 | | 0人 | 60歳代 | | | 5人 |
| | 30歳代 | | 1人 | 70歳代以上 | | | 1人 |
| | 通 学 | | ○をつけて下さい | 会費 (月額・年額) | | 材料費 (月額・年額) | 入 会 金 |
| | | ○○○○円 | ○○○○円 | | ○○○○円 | | |
| 指 導 者 | 氏 名 | 船 橋 太 郎 | | 氏 名 | | | |
| | 職 名 | ○○公認指導者 | | 職 名 | | | |
| | 謝礼金 | (月・一回)○○○○円 | | 謝礼金 | (月・一回)○○○○円 | | |
| 入 会 の 現 状 | ① 入会希望者はすぐ入会できる。 (3) 名程度 | | | | | | |
| | ② 入会希望者には入会待ちをしてもらう。 () | | | | | | |
| | ③ 入会希望者には応じられない。 (理由) | | | | | | |

※会員の半数以上が市内居住、または通勤・通学者でない場合は、社会教育団体の登録要件から外れてしまいます。

薬円台○△サークル会則（※見本でありこの通りの必要なし）

（名称及び所在地） 役職等。（例：市内の役員宅）

第 1 条 本会は、薬円台○△サークルと称し、事務所を○○宅に置く。

（※指導者・流派の名が入ることは避けてください）

（目的）

第 2 条 本会は、（○○の学習、△△の技術向上の習得）を通して教養を高め、併せて会員相互の親睦を図ることを目的とする。また、学習した知識・内容等を地域社会へ還元する活動を行う。

（会員）

第 3 条 本会の会員は、第 2 条の目的に賛同した者とする。

（活動）

第 4 条 本会は、第 2 条の目的を達成するために次のことを行う。

1. （○○の学習に関すること）
（△△の技術向上の習得に関すること）
2. 公民館文化祭や各種行事等に参加する。
3. その他目的達成に必要なこと。

（役員及びその任務）

第 5 条 本会に次の役員を置く。

- | | |
|-------|--------------------|
| 会 長 | 1 名 |
| 副 会 長 | 1 名 |
| 会 計 | 1 名 |
| 監 査 | 1 名（※兼任は好ましくありません） |

（※上記の内会長・会計・監査の 3 役は必ず設けてください。その他必要な役員は明記してください。）

また、会の指導者の関係者が役員をつとめることは不適切です。）

2. 会長は本会を代表し、会を統括する。
3. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
4. 会計は会の経理を処理する。
5. 監査は会の経理について監査する。
6. （その他の役員についてはその職務について明記してください）

（役員を選任及び任期）

第 6 条 本会の役員は、総会において選任する。

2. 役員任期は 1 年とする。ただし再任を妨げない。
3. 役員欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

（会議）

第 7 条 本会の会議は、総会及び役員会とし、会長が召集する。

2. 総会は年 1 回開催する。ただし特に必要と認める時は臨時に開催できる。
3. 役員会は随時に開催する。

（経理及び会費）

第 8 条 本会の運営上の経費は、会費・入会金及びその他の収入をもってこれに充てる。

2. 会費は、月額○○○円、入会金は○○○円とする。
3. 会費は（その月の最初の活動日に納入する）（年額を前期と後期に分納する）
（年額を一括納入とする）
4. （活動に伴う材料費等は、実費を負担するものとする）
5. （臨時の行事に伴う費用は、その都度負担する）

（その他）

第 9 条 本会の活動上の問題については、役員会にて協議し決定する。

（会計年度）

第 10 条 本会の会計は、4 月 1 日に始まり 3 月 31 日をもって終了する。

附則

この会則は、平成 年 月 日 から適用する
平成 年 月 日 一部改正
令和 年 月 日 一部削除

※会費等の変更は指導者の意向でなく会員の総意で行って下さい。変更した場合は必ず会則（規約）も変更して下さい。